

令和4年度 幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

「育ちと学びをつなぐ」

幼保小連携・接続の充実

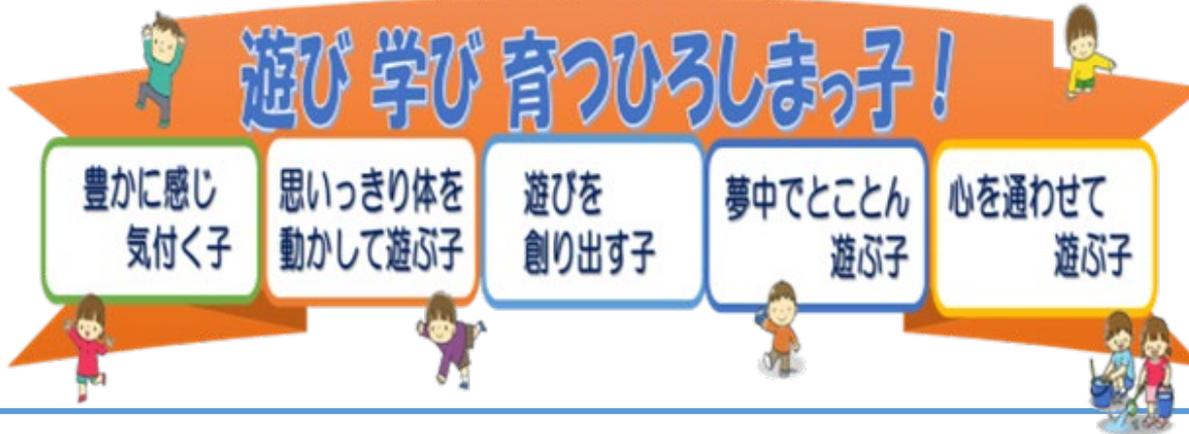


令和4年5月23日（月）

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン（第2期）

本県の目指す乳幼児の姿



子供が育つ環境にかかわらず、「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方が家庭や幼稚園・保育所・認定こども園等、さらには小学校以降で共通認識され、一人一人の子供が興味・関心に基づいてやりたいことを自由に選択できるような環境の中で、子供たちには、生涯にわたって主体的に学び続けるための基盤が培われている。

「学びの変革」の原点

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン（第2期）

I 子供の育ちのつながり

施策1 教育・保育の内容や方法の充実

- ①教育・保育の質的向上を図る調査研究・情報発信
- ②豊かな教育環境の整備
- ③特別な支援や配慮が必要な子供・家庭への支援
- ④教育・保育の質の評価の促進

施策2 教育・保育を担う人材の確保、資質及び専門性の向上

- ①研修の実施等による資質・能力の向上
- ②教員・保育士等の人材の確保

施策3 小学校以降の教育との円滑な接続の推進

- ①学びの連続性を確保する教育課程の充実
- ②幼保小連携・接続の推進に係る仕組みづくり

II 家庭・地域のつながり

施策4 家庭教育支援の充実

- ①「遊びは学び」をはじめとした親に伝えたい内容の共感的理解の促進
- ②親の育ちを応援する学びの機会の充実
- ③地域における家庭教育支援のための人材育成・体制整備

III 行政・関係機関のつながり

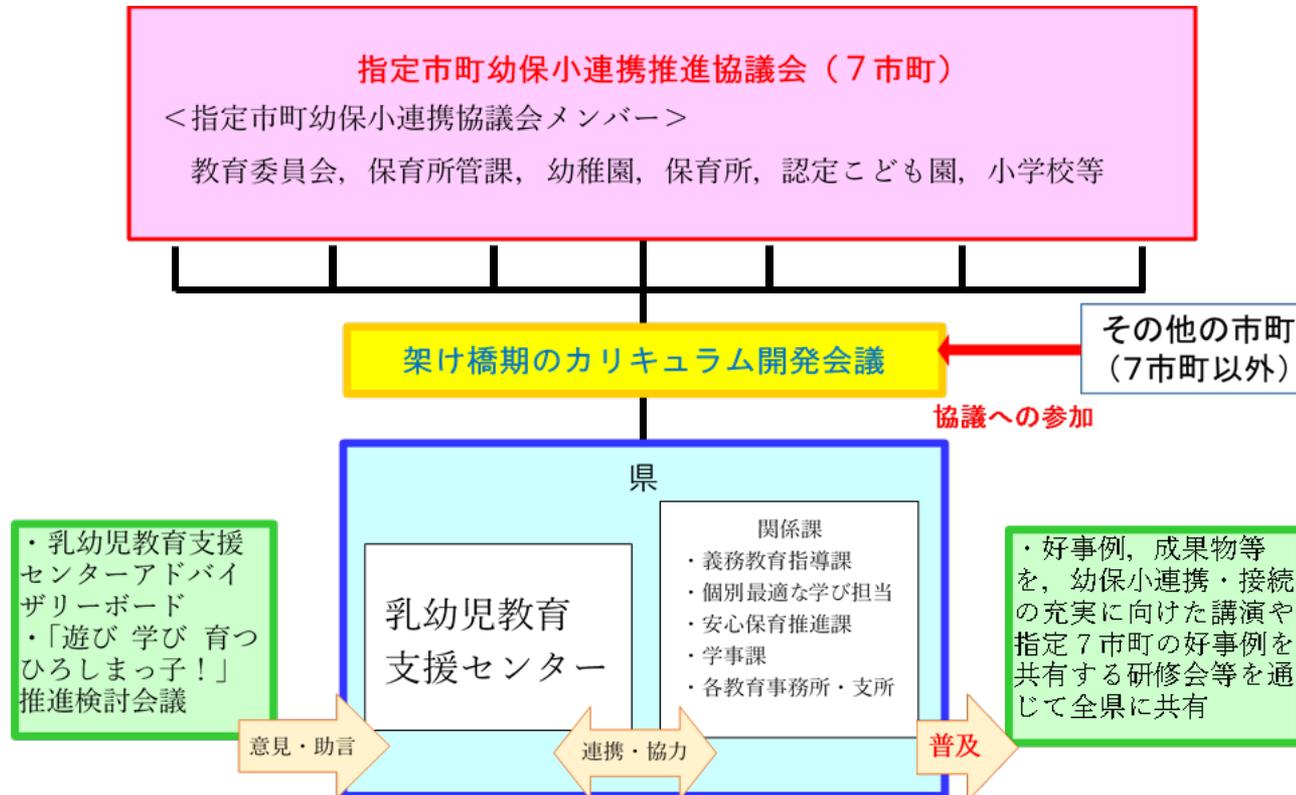
施策5 乳幼児期の教育・保育を推進するための体制の構築

- ①「乳幼児教育支援センター」を拠点とした質の高い教育・保育の推進

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

広島県教育委員会の取組内容

- 市町教育委員会と保育所管課が連携して本事業に取り組む7市町を指定し、事業の一部を再委託する。
- 架け橋期のカリキュラム開発会議を設置し、年2回、開催する。



幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

指定市町の取組内容

1 幼保小連携協議会の設置及び定期的な協議会の開催

地域の実情に応じた組織的・計画的な幼保小連携・接続の推進を行う。



2 幼保小合同研修会の開催

3 教育・保育内容の相互参観の実施



指定市町の取組内容

4 小学校における一人一人の子供の育ちや学びをつなぐ取組

【小学校における具体的な取組内容】

(ア) 園・所から送付される**指導要録等の活用**

(イ) 小学校教員等(管理職並びに主幹教諭, 養護教諭及び特別支援教育コーディネーター等)による園・所(入学対象園児が通園する主な園・所1施設以上)への**複数回訪問**



幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

指定市町の取組内容

5 地域の実情に応じた取組

例)

- ・ 乳幼児期から小中(高等)学校までの12年(18年)間で育む資質・能力についての整理
- ・ 接続カリキュラムに係る研究
(義務教育開始前後の5歳児から
小学校1年生の2年間のカリキュラム)
- ・ 特別な配慮を要する子供への支援に係る研究
- ・ 保護者の理解促進に係る研究
- ・ 1～4の特徴ある取組に係る研究

園・所と小学校の
違い(生活時間等)
について触れられる
といいですね。

Q&Aがあ
るとよいと
思う。



幼保小の連携・接続の充実に向けて

★令和4年度の新たな取組★

初任者研修における就業体験



【ねらい】

- 幼稚園・保育所・認定こども園における就業体験を行うことで、
- 「学びの変革」の原点となる「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方を理解する。
 - 園・所における子供の見取りや支援の在り方等を体感し、自身の小学校における教育活動の充実につなげる。

【内容】

- ・園・所長等によるオリエンテーション
- ・保育補助
- ・園・所長等と振り返り
- ・個人の振り返り

幼児教育アドバイザー等の同行による指導・助言

- ・ 幼児教育からの学びは？
- ・ 今後の自身の教育活動に生かすことは？